

1 農業信用保険勘定
(1) 農業保険業務

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	9,658	リース債務(短期)	0
有価証券	12,627	引当金	
未収金	870	賞与引当金	29
その他の流動資産	102	政府事業交付金	8,823
流動資産合計	23,257	支払備金	995
II 固定資産		その他の流動負債	16
1 有形固定資産		流動負債合計	9,863
建物	221	II 固定負債	
減価償却累計額	△ 129	リース債務(長期)	1
土地	663	引当金	
その他の有形固定資産	32	退職給付引当金	841
減価償却累計額	△ 20	責任準備金	5,499
有形固定資産合計	767	固定負債合計	6,341
2 無形固定資産	31	負債合計	16,203
3 投資その他の資産		(純資産の部)	
投資有価証券	34,596	I 資本金	
その他の投資その他の資産	3	政府出資金	5,442
投資その他の資産合計	34,599	民間出資金	20,239
固定資産合計	35,397	資本金合計	25,681
		II 資本剰余金	
		政府交付金	3,288
		特別出えん金	23
		資本剰余金合計	3,311
		III 利益剰余金	
		前中期目標期間繰越積立金	9,774
		当期末処分利益	3,685
		(うち当期総利益)	(3,685)
		利益剰余金合計	13,458
		純資産合計	42,450
資産合計	58,654	負債純資産合計	58,654

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常費用		経常収益	
事業費		事業収入	
保険事業費		保険事業収入	
保険金	3,926	保険料収入	3,404
求償権管理回収助成	28	回収金収入	2,931
支払備金繰入	78	政府事業交付金収入	564
事業費合計	4,032	責任準備金戻入	923
一般管理費		事業収入合計	7,822
人件費	383	財務収益	
直接業務費	80	受取利息	2
管理業務費	62	有価証券利息	495
賞与引当金繰入	29	財務収益合計	496
退職給付引当金繰入	10	雑益	6
減価償却費	44		
一般管理費合計	608		
経常費用合計	4,640	経常収益合計	8,324
経常利益	3,685		
臨時損失			
固定資産除却損	0		
臨時損失合計	0		
当期純利益	3,685		
当期総利益	3,685		

1. 貸借対照表

(注) 貸借対照表及び損益計算書の説明における金額の次の()内は、25年度からの増減を示す(以下同じ)。

- 平成26年度末における資産総額は586億54百万円(22億80百万円増)である。
主な内訳は、有価証券及び投資有価証券が472億23百万円(29億90百万円増)、現金及び預金が96億58百万円(6億12百万円減)である。
- 負債総額は162億3百万円(14億5百万円減)である。
主な内訳は、政府事業交付金88億23百万円(5億90百万円減)、責任準備金54億99百万円(9億23百万円減)、支払備金9億95百万円(78百万円増)、退職給付引当金8億41百万円(23百万円増)である。
- 純資産総額は424億50百万円(36億85百万円増)である。
主な内訳は、政府及び農業信用基金協会等からの出資金256億81百万円(増減なし)、政府交付金32億88百万円(増減なし)、利益剰余金134億58百万円(36億85百万円増)である。

2. 損益計算書

- 平成26年度の経常費用は46億40百万円(51億85百万円減)、経常収益は83億24百万円(4億42百万円増)で、これに臨時損失を加味した結果、当期純利益は36億85百万円となり、前年度の19億43百万円の損失から利益に転じた。
- この損失から利益に転じた主な要因は、
 - 支払備金について、前年度1億90百万円の戻入(収益計上)であったのに対し、本年度は78百万円の繰入(費用計上)となったこと、
 - 政府事業交付金収入が5億64百万円(1億68百万円減)となったものの、一方で、
 - 責任準備金について、相当程度の実績データの蓄積に伴い、より精緻化が見積りが可能となったため、会計上の見積り変更を行ったことから、前年度は41億44百万円の繰入であったのに対し、本年度は、保険価額残高の減少及び事故率低下の影響により9億23百万円の戻入となったこと、
 - 保険金について、畜産関係の各種資金が融通措置されていることや、金融円滑化法の期限到来後も貸付条件の変更等同様の措置が講じられていることにより、39億26百万円(12億5百万円減)となったこと等による。

(2) 農業融資業務

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	4	リース債務(短期)	0
有価証券	1,173	引当金	
未収収益	3	賞与引当金	2
短期貸付金	12,392	その他の流動負債	1
その他の流動資産	-	流動負債合計	3
流動資産合計	13,572	II 固定負債	
II 固定資産		リース債務(長期)	0
1 有形固定資産		引当金	
建物	-	退職給付引当金	49
減価償却累計額	-	固定負債合計	49
土地	-	負債合計	52
その他の有形固定資産	-	(純資産の部)	
減価償却累計額	-	I 資本金	
有形固定資産合計	-	政府出資金	29,584
2 無形固定資産	-	民間出資金	-
3 投資その他の資産		資本金合計	29,584
長期貸付金	24,522	II 資本剰余金	
その他の投資その他の資産	0	政府交付金	8,214
投資その他の資産合計	24,522	特別出えん金	-
固定資産合計	24,522	資本剰余金合計	8,214
		III 利益剰余金	
		前中期目標期間繰越積立金	246
		当期末処理損失	△1
		(うち当期総損失)	(△1)
		利益剰余金合計	245
		純資産合計	38,043
資産合計	38,094	負債純資産合計	38,094

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書

(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	22	貸付事業収入	
直接業務費	1	貸付金利息	6
管理業務費	4	事業収入合計	6
賞与引当金繰入	2	財務収益	
退職給付引当金繰入	1	受取利息	0
減価償却費	3	有価証券利息	25
一般管理費合計	32	財務収益合計	25
経常費用合計	32	雑益	0
		経常収益合計	31
		経常損失	1
臨時損失			
固定資産除却損	0		
臨時損失合計	0		
		当期純損失	1
		当期総損失	1

1. 貸借対照表

(1) 平成26年度末における資産総額は380億94百万円(29百万円減)である。主な内訳は農業信用基金協会に対する貸付金(短期及び長期)369億14百万円(15百万円増)、有価証券11億73百万円(39百万円減)、現金及び預金4百万円(5百万円減)である。

(2) 負債総額は52百万円(28百万円減)である。主な内訳は、退職給付引当金49百万円(27百万円減)である。

(3) 純資産総額は380億43百万円(1百万円減)である。主な内訳は政府出資金295億84百万円(増減なし)、政府交付金82億14百万円(増減なし)、利益剰余金2億45百万円(1百万円減)である。

2. 損益計算書

(1) 平成26年度の経常費用は32百万円(10百万円減)、経常収益は31百万円(4百万円減)で、これに臨時損失を加味した結果、当期総損失は1百万円(損失の7百万円減)となった。

(2) この損失が減少となった主な要因は、
 ① 収益において、金利の低下により貸付金利息が6百万円(2百万円減)となったものの、
 ② 費用において、一般管理費が32百万円(10百万円減)となったこと等による。